

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季五輪誘致のため調査費の計上をされたい。また、国体以降の活性化として冬季国際スポーツ大会誘致を促進されたい ・ 市の各種審議会や協議会の活性化や各層の参加を強化されたい。また、特定の人へ偏ることを防いで頂きたい 	<p>国際レベルの大会を開催することは、地域にインフラ整備効果や経済効果などをもたらすほか、トップアスリートの競技を間近に観戦できることで、市民のスポーツ人口の拡大や競技力の向上にも寄与するものと考えております。また、その一方で誘致に向けた市民意識の醸成、誘致体制の構築、又は経済的負担などの課題があるものと存じております。盛岡広域8市町では、国体開催以後のスポーツ推進施策について検討することとし、スポーツツーリズムの推進に向けた取組を始めたことから当面は、2020東京オリンピック・パラリンピックの国内予選会・事前合宿誘致に取り組むこととし、その取組を通じて冬季スポーツ競技につきましても視野に入れながら、スポーツツーリズムの推進の中で検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部スポーツ推進課）</p> <p>各種審議会等につきましては、「審議会等の設置等及び委員の選任に関する指針」を定め、より多くの市民の市政への参画を進めるため、公募委員枠の導入や女性委員の登用の推進に努めるとともに、当該団体の長に固定した人選とならないよう配慮しているところです。</p> <p>今後も、審議会等の所管部署を中心に適正な委員構成となるよう、専門的知識の必要性など、委員に求められる要件を十分に勘案し、実効性のある審議会等の運営に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部職員課・市民部男女共同参画青少年課）</p>
<p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手国体の成功に向け市民の力を結集されたい ・ 町内会への補助金を増額されたい 	<p>【国体局で回答】</p> <p>今年3月に策定した市民協働推進指針の基本方針に基づき、26年度中に盛岡市町内会・自治会協働推進計画を策定する予定であります。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を減額しておきながら、別の補助金を創設している。以前の水準に戻すことも検討されたい(町内会行事や伝統行事などで補助金の削減がある一方で別口では、補助金の受け取れる制度を作っている現状がある) ・ 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい ・ 特定の市民に複数の役職が集中している実態を把握され、市民参加が市民負担となっていないか実態を調査されたい 	<p>この計画の中で、町内会・自治会等の補助金申請の手続きを簡素化し、使途の自由度を高める総合的な補助制度の創設を検討しております。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> <p>平成23年4月に策定した「盛岡市地域協働推進計画」に基づき、地区の多様な主体により地域の課題の解決や将来像の実現に向けた「地域協働」に取り組んでいる地区に対する補助制度を設けております。</p> <p>この補助制度においては、地区の計画を策定する経費や計画に基づく事業費を助成しており、地区のニーズに合ったテーマに取り組むことが可能でありますことから、活用を検討いただきたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p> <p>盛岡市内のゾーン30につきましては、現在、杜陵、本宮、土淵、見前小学校周辺に設定されており、ゾーン30の設定場所について盛岡東警察署に伺ったところ、「学校周辺や通学路はゾーンを設定すべき区域の選定の大事な要件のひとつ」とのことでしたので、今後のゾーン設定について通学路を選定するよう所轄警察署に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(市民部くらしの安全課)</p> <p>市は、地域で開催される懇談会等において、役員の担い手不足という課題を抱えている町内会があることは認識しており、市民協働推進指針の基本方針に基づき、26年度中に盛岡市町内会・自治会協働推進計画を策定する予定であります。</p> <p>これまでに、30ほどの町内会等にお話を伺っておりますが、その課題は必ずしも共通ではなく、担い手不足は問題ないが、役員の高齢化や町内会等に参加しない住民がいるなど地域ごとに異なるものであり、これらの御意見も参考に総合的な補助制度の創設や市民活動・市民協働に関する相談窓口の設置、市との連絡調整などを行う地域担当職員の配置などを計画に盛り込むことを検討しております。</p> <p style="text-align: right;">(市民部市民協働推進課)</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会に管理を委託している街灯のLED化の促進および交通事故の際の町内会管理の電柱事故における負担対策について考慮されたい ・ 画期的な自転車走行レーンの延長に併せた形で、自転車の安全走行に関する指導を強化されたい ・ 車道の左側走行と夜間ライト点灯の指導を強化するとともに、国土交通省や警察庁の指導に従い、自転車の原則車道走行及び道路交通法の遵守を徹底するよう働きかけたい ・ 子ども・若者育成支援推進法の趣旨に則り、いわゆるグレーゾーンに属する可能性がある子ども達の早期発見・支援を行われたい。また、支援は受胎時代から切れ目ない支援を実現できるような体制を整えられたい ・ 歩行者用信号機に待ち時間を示す機能を追加 	<p>公衆街路灯のLED化につきましては、平成25年度から補助率を拡充するとともに、各町内会等へ補助要望調査を行い26年度は予算を確保しておりますので、引き続き予算の確保に努めてまいります。</p> <p>また、町内会の街灯が交通事故により損害を受けた場合は、一般的には事故を引き起こした原因者によって損害賠償が行われるべきものと考えますが、当て逃げ等のために原因者が全くわからず町内会がお困りになっているような場合は、現行補助制度の範囲内で相談を受けてまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">（市民部市民協働推進課）</p> <p>自転車の安全走行に関する指導や道路交通法遵守の徹底などにつきましては、小学校、中学校を対象とした交通安全教室において、対象学年に応じた安全な乗り方や通行方法などの指導を行っているほか、朝夕の通勤通学時においては、交通指導員による歩行者や自転車利用者に対する街頭指導を行っております。また、高校生や大学生を対象に学校、警察及び市が連携し、通行指導を行っているほか、今年度は高校生に対して、周辺の市町と連携した自転車の安全利用の指導も行っております。毎月8の日（岩手県自転車安全指導の日）には、警察、交通安全協会及び市の連携による街頭での自転車利用者に対する安全利用の呼びかけやルール・マナー違反者への指導も行っているところです。</p> <p>市といたしましては、警察及び関係団体等と一層連携を図りながら、自転車利用者に交通ルールの遵守や安全利用を引き続き呼びかけてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部くらしの安全課）</p> <p>【画期的な自転車走行レーンの延長に併せた指導の強化については、交通政策課で回答】</p> <p>本市では、これまで「新青少年健全育成計画」に基づき青少年施策を行ってまいりましたが、今年度「子ども・若者育成支援推進法」に基づいた新たな計画を策定しております。その中で、グレーゾーンに属する可能性のある子どもたちの早期発見や支援を、社会全体で支える仕組みづくりを進めるとともに、子ども・若者に対して、切れ目のない支援を実現できる体制を、関係機関と連携しながら構築していくことといたします。</p> <p style="text-align: right;">（市民部男女共同参画青少年課）</p> <p>信号機の設置や改良などは岩手県公安委員会の所管事項となっております。経過時間</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>されたい（市役所前や開運橋両側，明治橋等）</p> <p>【保健福祉部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <p>・健康寿命の増進とあわせ、その財政的な効果を検証し公表されたい</p> <p>・乳幼児医療補助の現物支給の実施をされたい</p>	<p>表示付き歩行者用交通信号機の設置について、盛岡東警察署に伺ったところ、「今のところ導入の予定はありませんが、導入により横断歩行者の信号無視や無理な横断の抑止が図られ、より横断歩行者の安全性が高まると思われることから、現在導入が必要な交差点を検討中です。」とのことでした。市といたしましても、横断歩行者の安全性が図られるよう経過表示付き歩行者用信号機の導入について、要望してまいりたいと存じます。 (市民部くらしの安全課)</p> <p>健康寿命の増進につきましては、平成27年度から向こう10カ年の市民の健康づくりの指針となる「第2次もりおか健康21プラン」の中で、全体目標として「健康寿命を延ばす」を掲げ、取り組んでまいりたいと存じます。 また、健康寿命の増進による財政的な効果を検証し公表することにつきましては、国の研究報告によると健康寿命の延伸が介護給付費や医療費の削減に一定の効果があるものとされておりますことから、今後、国の研究報告などを参考にしながら財政的な効果について研究してまいりたいと存じます。 (保健福祉部介護高齢福祉課・保健所健康推進課・市民部健康保険課)</p> <p>乳幼児医療費給付の現物支給につきましては、現物給付の方法で福祉医療費を給付した場合、国民健康保険国庫負担金の減額措置により国保財政に大きな影響があるため、やむを得ず県内統一して償還払いとしているところであります。 また、乳幼児医療費の助成事業は県から補助を受け実施しており、岩手県独自の償還払いシステムを構築しているため、市と国保連のシステム改修に多額の経費を要するなどの課題がありますことから、市が独自に現物給付を行うことは現時点で難しいものと考えております。 このことから、国に対し全国市長会を通じ、現物給付に伴う国庫負担金減額措置の撤廃を要望しているところであり、今後も継続して要望してまいります。 (市民部医療助成年金課)</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【教育委員会関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <p>・芸術・文化都市条例の制定を行い，それに付随した都市づくりを行われたい</p>	<p>芸術・文化都市条例の制定を行い，それに付随した都市づくりを行うことにつきましては，平成25年10月1日時点で文化振興のための条例を策定しているのは中核市42市中9市（文化庁HPから抜粋）となっております。</p> <p>また，国においては，文化芸術創造都市の推進を図り，文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用し，自治体や市民（文化ボランティア，アートNPOなど），企業などと協働によって地域の課題解決に向けた取組を支援しようとしております。</p> <p>本市におきましても，文化芸術によるまちづくりの推進を図るため，現在，（仮称）文化芸術振興ビジョンの策定を進めているところであり，その中で条例制定の必要性を含め，研究を行ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市民部文化国際室）</p>